

姿月あさと・中村壱太郎が
本物の装束で演じる阿国一座の物語

装束夢幻×和楽奏伝

うっしせの阿国



2021.11/27 土 SAT 17:00 START / 10:15 OPEN → 28 日 SUN ① 11:00 START / 10:15 OPEN ② 15:00 START / 14:15 OPEN
京都 先斗町歌舞練場 全席指定 SS席 ¥9,000 S席 ¥6,000
※上演時間120分(休憩含む)
※未就学児入場不可

主催:井筒/宮本卯之助商店/サンライズプロモーション東京 企画制作:井筒企画 制作協力:茫/井筒東京/オズエンタテインメント 協力:先斗町歌舞練場
後援:京都商工会議所 (公社)京都府観光連盟 (公社)京都市観光協会 【関】サンライズプロモーション東京 TEL:0570-00-3337(平日12:00~15:00)

うっしせの阿国
装束夢幻×和楽奏伝



姿月あさと 中村壱太郎が
本物の装束で演じる阿国一座の物語



※「本物の装束」とは、資料に基づき研究のために再現された衣服の意です。

◎演出・振付:尾上菊之丞 ◎脚本:藤井青銅 ◎音楽・構成:吉井盛悟
◎装束・衣裳:井筒企画
◎和楽器:宮本卯之助商店
◎美術:松野 潤 ◎照明:藤井 直 ◎音響:田中保行 ◎衣裳:落 里美
◎舞台監督:増山義雄 ◎演出部:大野敏之 玉城忠幸 ◎振付助手:尾上菊透
◎先斗町歌舞練場
松繁洋美 棟梁:大橋信太郎 照明:今村吉明 音響:福崎 烈
◎金井大道具 ◎日本舞踊かつら
◎装束着付(井筒企画):落 里美 兵庫幹子 田村葉穂子 岡嶋 忍
森川慶子 木崎幸枝 二野宮昌美 谷輪富美
◎かつら・メイク(丸善):石川勝一 城間里美 川本悦子 木村好美 野崎まゆみ
◎照明オペレイト:川口 丞 吉田真弓 河西みのり ◎音響オペレイト:加藤 綾
◎ヘアメイク(姿月あさと):山下由花 ◎床山:町田文明(東京鴨治床山) 小田切敏彦(大澤)
◎映像収録スタッフ:西村功二 川本正人 米倉 潤 宮脇直樹 勝呂信彦 伊藤菜美
◎記録映像:本多孝成 ◎宣伝:宇津宮明美(る・ひまわり)
◎宣伝写真:阿部章仁 ◎舞台写真:宮川舞子 ◎宣伝美術:森田悠介 福田晴美

◎音楽制作:和田 淳 ◎楽器:関根まこと 守田充利
◎舞台制作:長谷川雅也 ◎制作デスク:高木久美子
◎制作:朽木未来 中澤美也子 大澤祐子 大須賀麻里 Risa
◎プロデュース:松山正明 鈴木奈緒子 後藤由紀夫 岡田夏実
◎制作統括:山本信之
◎配信映像:シルバスクリーン/アルトゥーロ ◎パンフレットデザイン:池田正規
◎アーティスト・マネージメント:オフィスウーカー アロープロモーション 成駒屋オフィス 生島企画室

主催:井筒 宮本卯之助商店 サンライズプロモーション東京
企画制作:井筒企画
制作協力:茫 井筒東京 オズエンタテインメント
協力:先斗町歌舞練場
後援:京都商工会議所 (公社)京都府観光連盟 (公社)京都市観光協会

企画:井筒興兵衛 宮本芳彦 高橋一仁

姿月あさとが演じる出雲の阿国一座と、
中村壱太郎が演じる放浪の壱創一座、
二つのかぶき者集団が織りなす芸能の世界。

歌舞伎の始祖とされている、出雲の阿国をテーマにしたストーリー仕立ての構成で、
姿月あさとのオリジナル楽曲の歌唱、日本舞踊、歌舞伎、和楽器演奏、など
伝統芸能のジャンルを超えた「新しい・伝統芸能」をお届けいたします。
煌びやかな本物の装束を纏った各界のトップスターが
本気のパフォーマンスを見せる本作品をお楽しみください

脚本:藤井青銅

1979年、第一回「星新一ショートショートコンテスト」に入選。以降、作家兼脚本家兼放送作家となる。「NHKFM青春アドベンチャー」などでラジオドラマ脚本多数。腹話術師・いっく堂の脚本・演出・プロデュースも担当。落語家・柳家花緑に全国47都道府県の創作落語を提供中。著書多数。『「日本の伝統」の正体』は話題を呼んだ。

これまでも井筒の装束を使用した公演には関わらせていただいていますが、初めて京都で公演できるのがすごく嬉しいですし、まして会場が先斗町歌舞練場ということで僕にとってはホームグラウンドとも言える場所ですので、出演者の皆さんと一緒にできることは楽しみです。京都ということで阿国をテーマにしていますが、我々が阿国を敬愛する理由は、歌舞伎踊りという新しく共感できるものを創り上げた一人の芸能者であるということ。芸能に関わる人たちが、世代が変わっても、世の中に向けて常に新しい表現活動が続けているわけですが、そのひとつの強い一歩を踏み出した人物が阿国なんだと思います。多ジャンルの皆さんが創り上げてきたことを、阿国を通し、しっかり繋いでいくことが今回の演出の基本的な考え方かなと思っています。そして舞台上で装束を着付けるシーンを設けます。俳優とは音楽や踊りだけでなく、身に着ける装束や小道具、髪型に至るまで常に新しい工夫が続けてきた。その俳優の精神を着付けを通して感じていただきたいと思います。舞台は夢の世界、お客様なりの夢をみていただき活力を得ていただけたらと思います。

先斗町の鴨川をどりの衣裳を井筒が担当していたご縁でお家元の尾上菊之丞さんとお付き合ひしておりました。お家元の、井筒も困ってしまうのびきらない才能とモチベーションに接し、この数年の東京国際フォーラムでのお正月の舞台の演出をお願いしていました。予想以上の反響をいただくそんな中で、東京浅草の太鼓と神輿の老舗・宮本卯之助商店さんのされている和楽奏伝を知ることになり、井筒の装束夢幻も一緒になって一つやってみましょうや、と言うことになりました。日本や西洋や亜細亜の楽器がセッションし、人の声帯と云う楽器が加わり人の動きが衣裳の動きとなり、テクスチャーが照明によって顕やかに、言葉が紡がれエンターテインメントの新しい世界が人の心を広げ和らげることが出来たら何て素晴らしいのだろうと思う。

この世で音楽と荘厳と動きの調和の響きを感じたいものです。

姿月あさとさん、中村壱太郎さん、吉井盛悟さん、生島翔さん、作家の藤井青銅さんや出演者、スタッフの皆さん達の力を借りて先斗町歌舞練場の舞台でお家元の演出を皆さんと共に楽しみたい。

演出・振付
尾上菊之丞

株式会社井筒 代表取締役社長
井筒興兵衛



吉井盛悟

笛・太鼓・胡弓奏者。作曲、演出家。青年期より日本の民俗芸能のフィールドワークに励む。2003年、佐渡に渡り「鼓童」に参加。2013年独立。和楽奏伝主宰。文化人類学的視点で日本音楽を捉え、国内外、ジャンルを問わず自由な音楽芸術活動をする。



生島 翔

ダンサー、俳優、Q34productions代表。高校より米国留学、ニューヨーク大学卒業後、ドイツ・カッセル州立劇場ソリスト契約。ハリウッド映画「Darc」(Netflix)では準主役。『関ヶ原』(原田真人監督)、『人類史』(谷賢一演出)、『きみはベッ』等に出演。Tokyo Tokyo FESTIVAL助成では堤幸彦監督「Trinity」を企画制作、振付、出演をする。



中村 壱太郎

中村陽治郎の長男。祖父は四世坂田藤十郎。1995年1月大阪中座「堀山姥」の一子公時で初代中村壱太郎を名のり初舞台。2014年9月日本舞踊の吾妻流七代目家元吾妻徳陽を襲名。女方を中心に歌舞伎の舞台に精進しつつ、2020年7月新感覚の歌舞伎とアートのコラボからなる配信公演「ART歌舞伎」を上演。2021年6月現代劇「夜は短し歩けよ乙女」にて主演を勤め、先輩役を好演する。



姿月あさと

元宝塚歌劇団宙組初代トップスター。2000年退団後、コンサートや舞台への出演、TV等、活動は多岐にわたる。音楽のジャンルにとらわれない全方位型の自身を表現し続け、坂東玉三郎さん、石井竜也さん、島津亜矢さん、秋元康さん等、多彩なコラボも好評を博している。毎年、コンセプトの違うセルフプロデュースコンサートを開催する等、精力的に活動。



尾上 菊之丞

尾上流四代家元。流儀の舞踊会をはじめ「逸青会」(狂言師茂山逸平氏との二人会)、古典芸能オンラインサロン「K2 TEATRE」(藤間勘十郎氏と共同)を主宰。日本舞踊界初の映像作品「地水火風空そして、踊」を作・演出。高橋大輔主演のアイスショー「LUXE」では監修・演出を勤める。振付師としては「風の谷のナウシカ」、スーパー歌舞伎II「ワンピース」等、新作歌舞伎を手掛ける。



前田剛史

阪神淡路大震災の復興活動の一環で幼少期より和太鼓に親しみ、2008年より「太鼓芸能集団鼓童」入座。約10年間に随し年間100公演を超える国内外のツアーに参加。人間国宝の坂東玉三郎やアーティストのAI(アイ)、音楽家/映像作家の高木正勝や初音ミクなど、その他にも多数のアーティストとの共演実績がある。



大塚 惇平

笙。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒業。笙、右舞、歌物を豊英秋氏(元宮内庁式部職楽部首席奏長)に師事。雅楽古典の演奏・研究をベースにしつつ、現代音楽や即興演奏、他ジャンルとの交流を積極的に行う。



浅野 祥

津軽三味線、唄。16歳で津軽三味線全国大会殿堂入り。大島ミチル、ウイル・リーらとアルバム制作を行うなど海外へも積極的に発信する。本来の民謡、古典芸能の追求のみならず、幅広い世代に三味線の魅力を伝えるべく活動中。



三浦元則

箏、古代歌謡。幼少より父・三浦進に箏の手ほどきを受ける。箏・古代歌謡を東儀雅季、右舞を多忠輝、各氏に師事。東京藝術大学邦楽科卒業。同大学非常勤講師。「東京楽所」「日本音楽集団」所属。演奏は多岐に亘り国内外で活動している。



山野安珠美

沢井忠夫・一恵の両氏に師事。山口県芸術文化振興奨励賞、エネルギー音楽賞等受賞。文化庁新進芸術家国内研修員を経て、国内外でのリサイタルや参加ユニット公演の他、ジャンルの異なる音楽家や舞踊家との共演、「題名のない音楽会」「にはんごであそび」等TV・ラジオ出演、新作歌舞伎等舞台音楽やCD録音への多数参加など幅広い活動を展開。沢井等由院師範。



平田まりな

島唄、三線。6歳から島唄を習い始める。幼少期から奄美での大会や全国大会で数々の賞を受賞。2017年、島唄の最高賞である奄美民謡大賞を受賞。現在は国内外で島唄及び奄美を広げる活動。子ども達への島唄継承にも励む。また舞台女優など、多方面への活動に挑み続けている。



尾上 京

二歳より二代目尾上菊之丞(現、尾上墨雪)に師事。尾上流師範。京都・先斗町にて日本舞踊教室をもつ。NHK教育「日本の芸能」などにも出演や、日本舞踊協会主催公演、国立劇場主催公演、海外公演にも幅広く参加。自身のリサイタルも京都で開き、古典だけでなく創作舞踊などにも意欲的に活動。日本舞踊協会主催・新春舞踊大会で、大会賞、会長賞受賞。



花柳喜衛文華

北海道札幌市出身。東京芸術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻卒業。花柳 基に師事。埼玉県立芸術総合高等学校非常勤講師。日本舞踊協会公演、国立劇場主催公演、シスカンパニー公演「近松心中物語」、NHK「にっぽんの芸能」等出演。各流派合同新春舞踊大会にて、最優秀賞受賞。



藤間京之助

1987年 宮城県仙台市生まれ。2歳より藤間京師に師事。13歳で藤間京延の名を許される。2003年 藤間豊之助師に師事。2008年 東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻入学。在学中、藤間京之助に改名。師範資格取得。2011年東京藝術大学卒業。
(所属団体) 藤間流藤盛会 日本舞踊協会 藝〇座

うっし世の阿国

装束夢幻×和楽奏伝

set list

第一部

今ぬ風雲節

奄美民謡

オノゴロ

作曲:吉井盛悟

晴れ渡る

作曲:吉井盛悟

チリカラ梵天

作曲:吉井盛悟

鼓

作曲:山部泰嗣

伶の連歌(わざおぎのれんか)

作曲:吉井盛悟

うっし世の阿国

作曲:吉井盛悟

第二部

祭囃子組曲

伝承曲編曲

民謡メドレー

民謡編曲

じょんがら節〜神長老林節〜古代神

雅楽・壹越調

箏「鳥のように」

作曲:沢井忠夫

大太鼓曲

作曲:前田剛史

宴(えん)

作曲:吉井盛悟

永年豊年

作曲:吉井盛悟

※曲目や曲順は変更されることがあります。

うっし世の阿国

作詞:藤井青銅
作曲:吉井盛悟

かぶいて改め またかぶく 作って壊して また作る
行けども遠い んばたまの 闇かき分け
かぶいて改め またかぶく 出会って分かれて 出会う
いつかは消える うっせみの 命惜しまず

踊ってみれば世界 歌ってみれば未来 アア、この手につかみたい
飾ってみれば喜び 狂ってみれば哀しみ アア、つかみたい

答えを探して 果てない時を旅する
答えはないかも しれないが アア〜

答えはないかもしれないが アア〜

命惜しまず 命惜しまず 命惜しまず

チリカラ梵天

作詞:藤井青銅
作曲:吉井盛悟

茜さした雲の向こうに 何が待っているのか
藍に染まる海のかなたで 誰が待っているのか

踊りたい心のままに 歌いたいいつの世にも
いにしへの扉を開けて 新しきを迎え入れる

夜の中に朝を見つけ 朝は夜を抱えて生まれる
変わらないで変わらなことを 恐れずに歌いたい

変わらずに今もここに 昨日までの私にあらず
それはいつかなえられる 新しき世界へ

茜さした雲の向こうに 何が待っているのか
踊りたい心のままに 歌いたいいつの世にも

夜の中に朝を見つけ 朝は夜を抱えて生まれる
変わらないで変わらなことを 恐れずに歌いたい

主催:井筒/宮本卯之助商店/サンライズプロモーション東京 企画制作:井筒企画 制作協力:花/井筒東京/オズエンタテインメント
協力:先斗町歌舞練場 後援:京都商工会議所 (公社)京都府観光連盟 (公社)京都市観光協会

検温、アルコール消毒液の設置など感染症対策を実施します 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、会場では必ずマスクを着用し、声を出しての応援、客席での会話は控え下さい。